



TITLE:

編集後記・編集委員・購読要項・
投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記・編集委員・購読要項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1977, 23(8):
806-806

ISSUE DATE:

1977-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122136>

RIGHT:

編 集 後 記

文学作品における死者の名誉権のとり扱いが、臼井吉見氏の“事故のてんまつ”で問題になった。対象がノーベル賞作家だけにマスコミが大きくとりあげるようになったようであるが、一般市民の場合にはどうであろうか。石川啄木のローマ字日記（岩波文庫1977年新刊）には1909年（明治42年）、下宿の隣室で、当時テニス遠征試合のため合宿中の京大医学生が宿の女中と情をかわす場面が描写されており、編訳者の桑原武夫氏は、この学生の氏名、卒業年次を注記しておられる。しかし、故人の名誉が問題にされたという話は聞かない。

病跡学という学問では、個人または故人の私生活にまで深く立入ることがあり、やはり名誉権、人格権とのかかわりが生ずる。症例報告なども、部分的な病跡学といえないこともなく、実名を出さず、肖像権を侵害しない配慮が払われていることは周知のとおりである。（T.T.）

編 集 委 員

石 神 襄 次	前 川 正 信	宮 崎 重	新 谷 浩
園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫	（副主幹）	吉 田 修（主 幹）

購 読 要 項

1. 発行は毎月（年12回）とし、年間購読者を会員とします。ただし合併号を出すことがあります。
2. 会員は年間予約購読料 5,000 円（送料とも）前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限りです。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投 稿 内 規（1969年1月改正）

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は 400 字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプで 2 行の間隔をあけ、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR など、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
A 雑誌の場合 著者名：誌名、巻数：頁数、西暦年次。（論文題名は自由です）
文献名は正式略称を用いてください。
例：日泌尿会誌、臨床皮泌、皮と泌、泌尿紀要、臨泌；J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
B 単行本の場合 著者氏名：書名、版数、Vol. 数、p. 数、発行所、出版地、年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付けはいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第23巻 第8号	1977年11月25日 印刷	1977年11月30日 発行
創刊 稲 田 務	顧問 加 藤 篤 二	定価 500 円(送料別)
発行 吉 田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部	
〒606 京都市左京区聖護院川原町54	京都大学医学部泌尿器科学教室内	電話(075)751-3327(直通)
	印刷所 山代印刷株式会社	京都市上京区寺之内通小川西入
